

エアサス/アクティブサスコントローラー

車種別取付説明書

for TOYOTA AIR SUS

●クラウン S62.9～H3.10 (UZS131/MS137)	●ソアラ S61.1～H3.5 (MZ21)
●クラウンロイヤル H3.10～H7.11 (JZS145・135)	●ソアラ H3.5～H9.8 (UZZ31)
●マジェスタ H3.10～H7.8 (UZS141/JZS149)	●セルシオ H1.10～H6.9 (UCF11)
●マジェスタ4WD H4.10～H7.8 (UZS143)	●セルシオ H6.10～H12.8 (UCF21)
●マジェスタ H7.9～H11.9 (UZS151)	●セルシオ H12.9～H18.9 (UCF31)
●マジェスタ4WD H7.9～H11.9 (UZS155)	●アリスト4WD H4.10～H9.8 (UZS143)
●マジェスタ H11.10～H16.6 (UZS171・173)	●ハリヤー H15.2～H20.12 (MCU31・36/GSU31・36)

for TOYOTA ACTIVE SUS

●ランドクルーザー 100 (シグナス含む) (UZJ100/HDJ101) H10.2～H19.9
--

for NISSAN AIR SUS

●セドリック/グロリア S62.6～H3.6 (Y31)	●セドリック/グロリア H3.6～H7.5 (Y32)
●シーマ S63.1～H3.8 (Y31)	

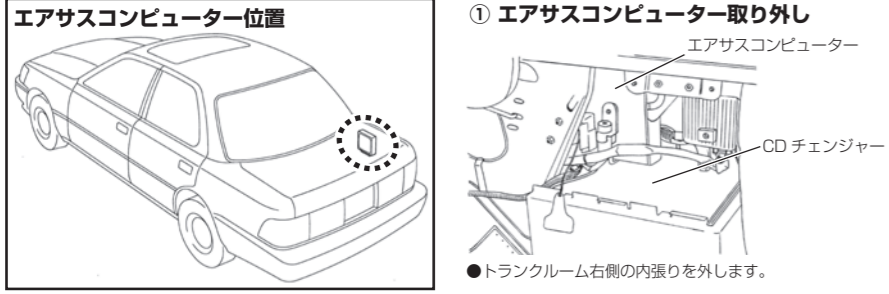
for NISSAN ACTIVE SUS

●シーマ H3.8～H8.5 (FGDY32)	●プレジデント H2.10～H14.8 (JHG50)
●シーマ H8.6～H12.12 (FGDY33)	●プレジデント JS H4.2～H14.8 (PHG50)
●インフィニティQ45 H1.10～H9.9 (HG50)	

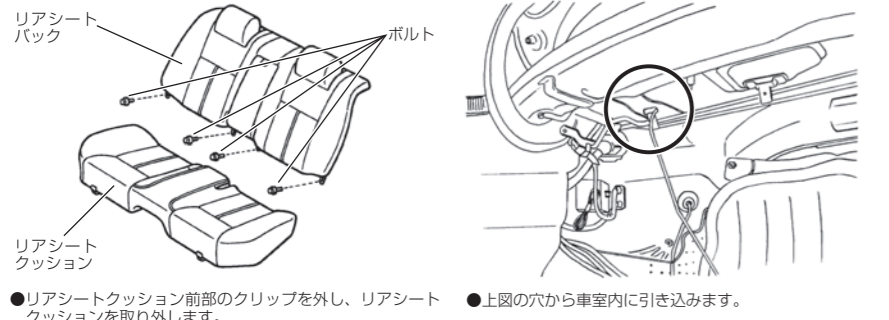
Data System 株式会社 データシステム
 ■【本社】東京都新宿区新宿1-18-2 ■【倉敷支社】岡山県倉敷市神田1-1-11
 弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転写・転載を禁じます。

セルシオ UCF11(H1.10～H6.9)

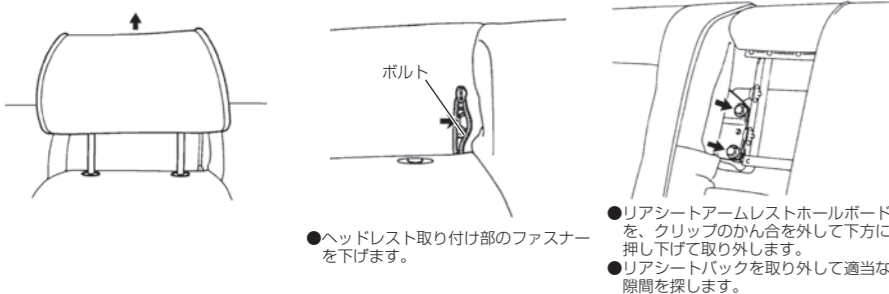
作業前に必ず基本取付図/取付手順をよくお読みください。
 エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



固定式シート装着車の場合



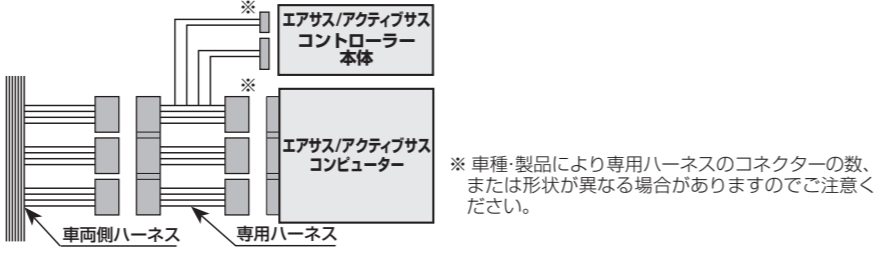
パワーシート装着車の場合



▲ 取り付け時の注意

- 本体および配線類はハンドル、シフトレバー、ペダル、パーキングブレーキの操作を妨げるような取り付けをしないでください。運転の邪魔になるばかりでなく事故の恐れがあります。
- 本製品は車種別専用ハーネスが設定されている車種専用です。車種別専用ハーネスが設定されていない車種には取り付けできません。また、車種別専用ハーネスが設定されていない車種への取り付けに関するサポートは一切おこなっていません。
- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。
- コネクタを引抜きときは、コネクタの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクタを無理に引っ張りますと、コンピューターが破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクタを接続するときは、カチツと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、ユニット、配線等がシートレールやペダル等に噛み込まれたり、挟まれる可能性がある場所には絶対に設置しないでください。製品破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- 本体を直射日光の当たる場所やエアコン吹き出し口付近の温度が極端に変化する場所、熱のこもる場所には取り付けしないでください。変色、変形、故障の恐れがあります。

基本取付図

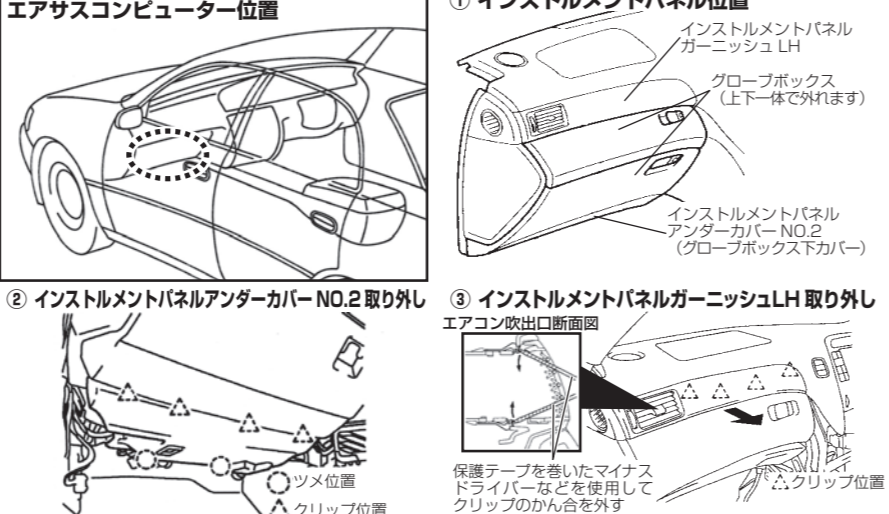


取付手順 (はじめにお読み下さい)

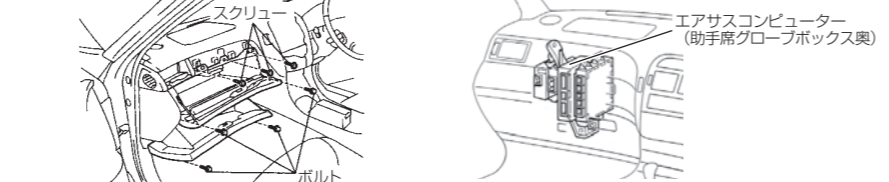
- ① エンジン停止後 (イグニッションキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
- ▲ **3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります**
- ② 車種別の説明を参照の上、エアサス/アクティブサスコンピューターを探します。
- ③ 基本取付図のようにエアサス/アクティブサスコンピューター、専用ハーネス、車両側ハーネス、コントローラー本体を接続します。
- ④ 接続を再度確認してバッテリーマイナス端子を接続します。
- ⑤ 取扱説明書参照の上、コントローラー本体の車種設定をおこないます。
- ⑥ エンジンを始動して、コントローラーの取扱説明書どおりに動作 (車高設定など) することを確認します (日産車は、シフトレバーをP(パーキング)に入れてパーキングブレーキを解除します)。
- ⑦ 正常にコントローラーが動作しない、車両のインジケータ (警告灯) が点滅するなどの症状が発生した場合、再度、接続箇所・コントローラーの車種設定を確認します。インジケータが減速している場合、バッテリーマイナス端子を5分以上外して記憶を消去してください。
- ⑧ コントローラーの正常動作を確認したら、ハーネスを室内に引き込み (各車種別説明参照)、パネルやシートなど内装部品を元通りに戻します。
- ⑨ コントローラー本体を、運転の妨げにならない場所に設置して取付終了です。

セルシオ UCF31(H12.9～H18.9)

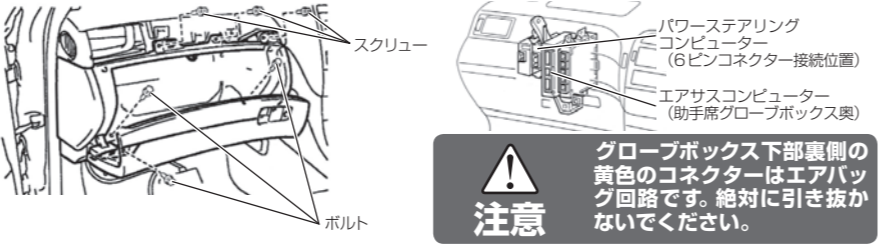
作業前に必ず基本取付図/取付手順をよくお読みください。
 エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



H15.7 以前の車両

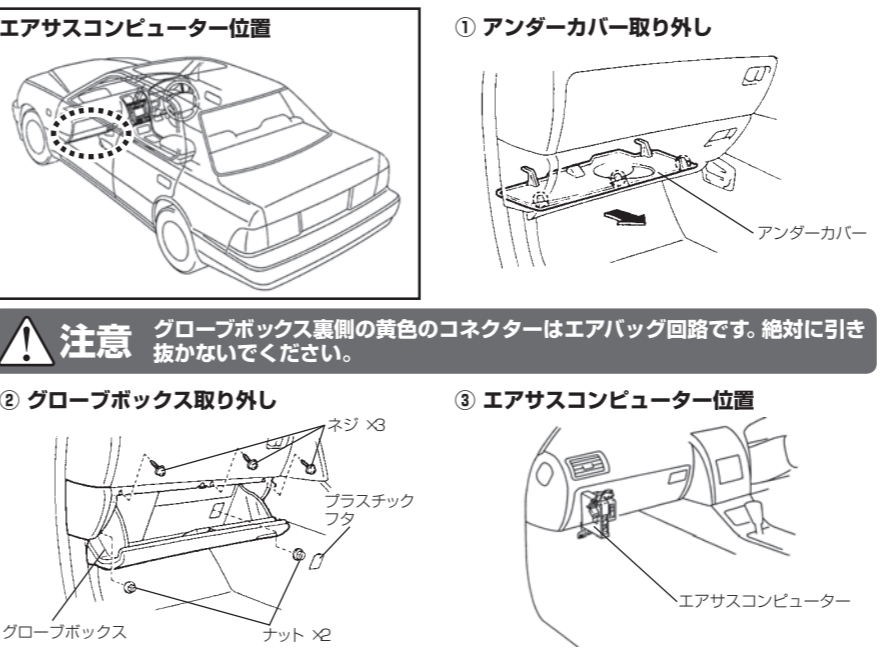


H15.8 以降の車両



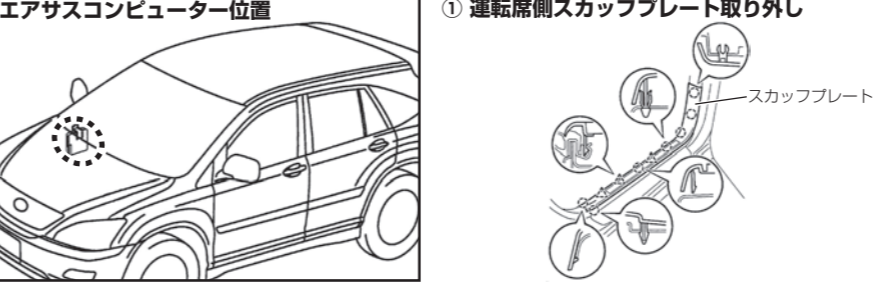
セルシオ UCF21(H6.10～H12.8)

作業前に必ず基本取付図/取付手順をよくお読みください。
 エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



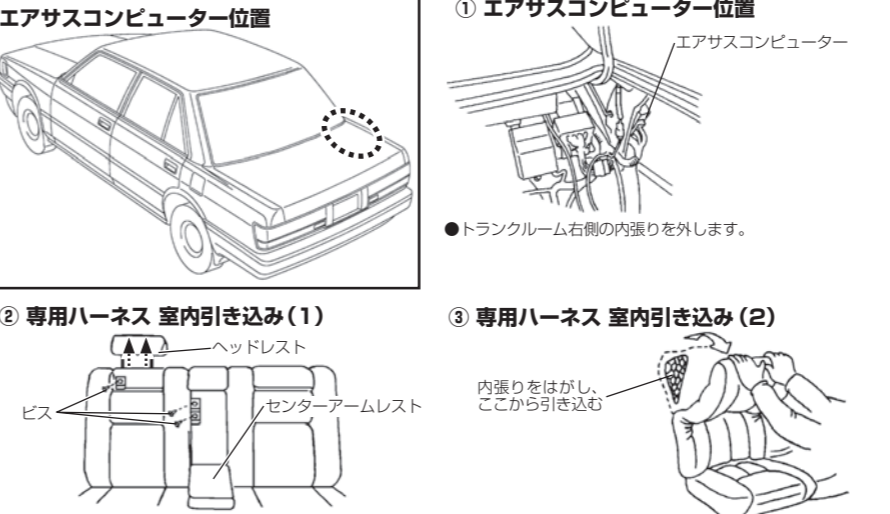
ハリヤー MCU31・36/GSU31・36 (H15.2～H20.12)

作業前に必ず基本取付図/取付手順をよくお読みください。
 エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



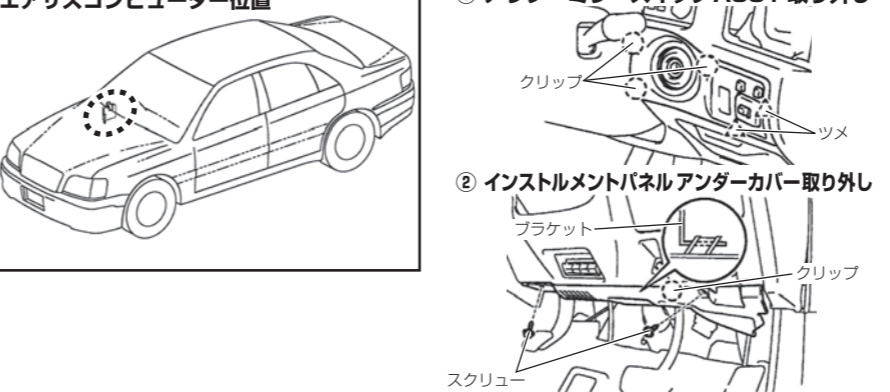
クラウン UZS131/MS137 (S62.9～H3.10)

作業前に必ず基本取付図/取付手順をよくお読みください。
 エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



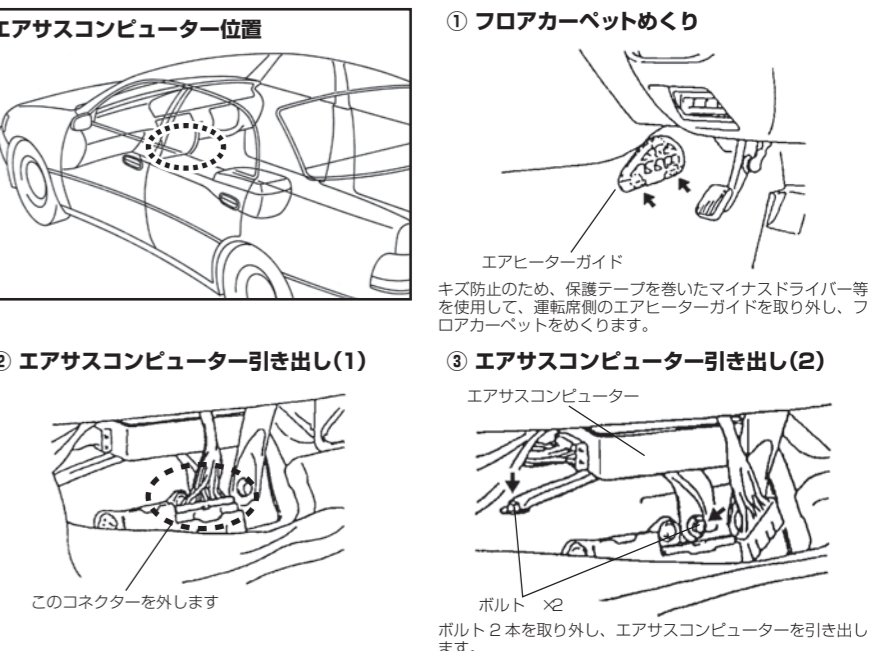
マジェスタ UZS171-173 (H11.10～H16.6)

作業前に必ず基本取付図/取付手順をよくお読みください。
 エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



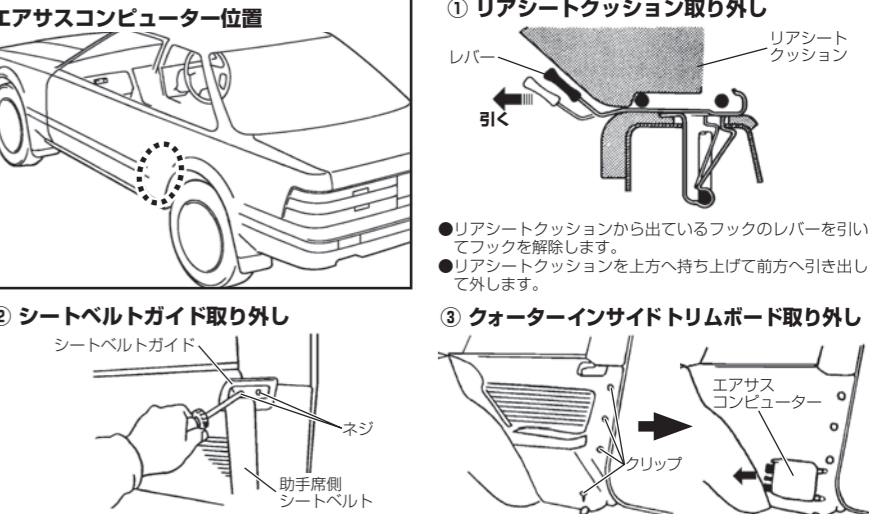
マジェスタ4WD UZS143(H4.10～H7.8) / アリスト4WD UZS143(H4.10～H9.8)

作業前に必ず基本取付図/取付手順をよくお読みください。
 エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



ソアラ MZ21 (S61.1～H3.5)

作業前に必ず基本取付図/取付手順をよくお読みください。
 エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。
3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります



マジェスタ / マジェスタ / マジェスタ4WD

UZS141 / JZS149 (H3.10~H7.8) UZS151 (H7.9~H11.9) UZS155 (H7.9~H11.9)

作業前に必ず基本取付図 / 取付手順をよくお読みください。

エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

エアサスコンピューター位置

① センターパネル取り外し

●キズ防止のため、保護テープを巻いたマイナスドライバーなどを使用してください。

② シフトレバーノブ取り外し ※UZS141/JZS149のみ

●シフトレバーノブカバーを下げ、スクリューを取り外します。
●シフトレバーノブ、シフトレバーノブカバーの順で上方へ引き抜いて取り外します。

③ コンソールアッパーパネル取り外し

●キズ防止のため、保護テープを巻いたマイナスドライバーなどを使用してください。

UZS151マジェスタ・UZS155マジェスタ4WDはシフトレバーノブを取り外す必要はありません。

ランドクルーザー 100 (シグナスを含む)

UZ100/HDJ101 (H10.2~H19.9)

作業前に必ず基本取付図 / 取付手順をよくお読みください。

エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

アクティブサスコンピューター位置

① インストルメントクラスターフィニッシュパネル取り外し

●左側シート中央下部の取り付けスクリューを取り外します。

クラウンロイヤル iZS145-135

(H3.10~H7.11)

作業前に必ず基本取付図 / 取付手順をよくお読みください。

エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

エアサスコンピューター位置

① エアサスコンピューター取り外し

セドリック・グロリア Y31 (S62.6~H3.6) / シーマ Y31 (S63.1~H3.8)

作業前に必ず基本取付図 / 取付手順をよくお読みください。

エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

エアサスコンピューター位置

① フロントキッキングプレート・カバー取り外し

●シートクッション下側の取り付けナット (右2個・左1個) を外し、シートクッションを取り外します。

② エンジン・エアサスコンピューター取り外し

●右側シートバックを止めているボルト4本を外し、リアシートバックを上方へ持ち上げるようにして取り外し、適当な隙間より配線を引き込みます。

室内から見て手前にあるエンジンコンピューターを外してから、エアサスコンピューターに専用ハーネスを取り付けてください。

注意
エアサスコンピューターとエンジンコンピューターの接続コネクタを、取り付け間違えないようご注意ください。

ソアラ UZZ31 (H3.5~H9.8)

作業前に必ず基本取付図 / 取付手順をよくお読みください。

エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

エアサスコンピューター位置

① リアシート取り外し

●リアシートクッション前部のクリップを外し、リアシートクッションを取り外します。

② ドアスカッフインサイドプレート取り外し

③ フロントシートベルトベゼル / クォータートリムボード取り外し

② フロントドアスカッフプレート / カウルサイドトリム取り外し

③ インストルメントロアパネル取り外し

セドリック・グロリア Y32 (H3.6~H7.5)

作業前に必ず基本取付図 / 取付手順をよくお読みください。

リアシート取り外し作業をおこなってからバッテリーマイナス端子を外してください。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

エアサスコンピューター位置

① エアサスコンピューター位置

●トランクルーム左側の内張りを外します。

② 専用ハーネス室内引き込み(1)

③ 専用ハーネス室内引き込み(2)

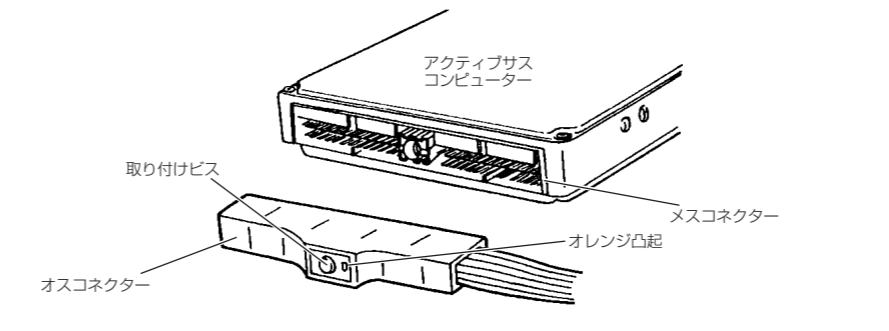
④ 専用ハーネス室内引き込み(3)

⑤ 専用ハーネス室内引き込み(4)

⑥ 専用ハーネス室内引き込み(5)

アクティブサス車 取り付け時の注意

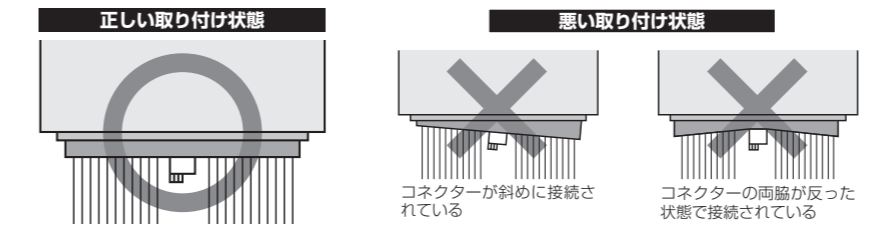
注意
アクティブサスコンピューターのコネクタは、取り扱いを誤ると接触不良を起こす可能性があります。接触不良を起こすと、本製品が正常に作動しないばかりでなく本製品及びアクティブサスコンピューターの故障の原因となります。必ず下記の手順に従って取り付け作業をおこなってください。



●オスコネクタを外す場合
取り付けビスを反時計方向に1周回したらオスコネクタの両端を手前に引き、それを繰り返しておこない、常にメスコネクタとオスコネクタとが平行になるようにして取り外してください。

●オスコネクタを取り付ける場合
取り付けビスを時計方向に1周回したらオスコネクタの両端を押し込み、それを繰り返しておこない、常にメスコネクタとオスコネクタとが平行になるようにして取り付けてください (取り付けビスはオレンジ凸起が面一になるまで締め込みます。締めすぎないように注意してください)。

上記の方法で扱わないと、コネクタ端子の曲がり、損傷、接触不良等を起こす可能性があります。必ず上記の方法でおこなってください。



シーマ FGDY33 (H8.6~H12.12)

作業前に必ず基本取付図 / 取付手順をよくお読みください。

エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

アクティブサスコンピューター位置

① アクティブサスコンピューター位置

固定式シート装着車の場合

② 専用ハーネス室内引き込み

パワーシート装着車の場合

② 専用ハーネス室内引き込み

シーマ FGDY32 (H3.8~H8.5)

作業前に必ず基本取付図 / 取付手順をよくお読みください。

リアシート取り外し作業をおこなってからバッテリーマイナス端子を外してください。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

アクティブサスコンピューター位置

① アクティブサスコンピューター位置

② 専用ハーネス室内引き込み(1)

③ 専用ハーネス室内引き込み(2)

④ 専用ハーネス室内引き込み(3)

⑤ 専用ハーネス室内引き込み(4)

⑥ 専用ハーネス室内引き込み(5)

インフィニティQ45 / プレジデント / プレジデント JS

HG50 (H1.10~H9.9) JHG50 (H2.10~H14.8) PHG50 (H4.2~H14.8)

作業前に必ず基本取付図 / 取付手順をよくお読みください。

エンジン停止後 (IGキー-OFF後) 3分以上経過してから、エンジンルーム内のバッテリーマイナス端子を外します。

3分以内に外すと、車両側コンピューターが異常を検知する場合があります

アクティブサスコンピューター位置

① アクティブサスコンピューター位置

② 専用ハーネス室内引き込み

インフィニティQ45の場合

② 専用ハーネス室内引き込み

プレジデントの場合